



## 感謝の心

山東省・青島旅游学校 高3（女）

崔 玲

人生においては、様々な出会いがあります。悪い出会いがあれば、素敵な出会いもあります。そして、これまでに出会った人たちに、私は「ありがとう」と伝えたいです。

まず、私のクラスメートたちです。2011年、私たちは様々な理由で同じクラスに入り、そしてクラスメートになりました。知り合ってから二年半、私たちは一緒に勉強して、一緒に笑って、一緒に泣いて……いろいろなことをしながらお互いをよく理解するようになりました。これらの思い出は全部私にとって素敵な思い出になったと思います。私たちはいつも互いに助け合って勉強してきました。その中で彼らは私にたくさんのことを教えてくれて、とても勉強になりました。もちろん、うれしいことばかりではありません。悲しかったこと、思ってもみなかったこともあり、けんかしたこともありました。最後はまた団結することができました。このクラスでは、大切な友情を結ぶことが出来たと思っています。だから、私はクラスメートたちに伝えたいです。——「12班の皆さん、この二年半お世話になりました。いつも私のことを助けてくれてありがとう。」

それから、私の親友、羅さんです。羅さんはとても朗らかな人です。私たちは中学校の時出会いました。その日は雨がたくさん降っていました。私は傘を持っていましたから、（よかったなあ）と思って、家に帰ろうとした時、木の下にいる女の子が見えました。よく見ると、私の新しいクラスメートでした。彼女のそばに走って行くと、彼女はもうびしょ濡れでした。そして、私は「一緒に帰らない？」と聞きました。彼女は笑いながら、「ありがとう」と言ってくれました。どちらかという私は恥ずかしがりやです。でも帰り道、彼女がどんどん私に話しかけてくれました。その時初めて彼女の名前を知りました。私たちの家が近かったので、その後も一緒に家に帰ることが多くなり、そして、だんだん仲良くなりました。学校で

一緒にご飯を食べたり、家に帰ったり、休日に一緒に買い物をしたり、悩みを言い合ったりしました。そして、いつの間にかお互いの一番の親友になっていました。中学校三年生の時、進路によって私たちは違うクラスに分かれてしまいましたが、帰る時はいつも一緒でした。時々私のクラスは終わるのが遅い時もありますが、彼女はいつも私を待ってくれました。そして帰り道はいつも互いに悩みを相談し合ったり、昼間にあったうれしかったことを話したり、とても楽しかったです。今、私たちは違う高校で勉強していますが、時々連絡を取っています。たまには一緒にショッピングを楽しみます。今でも何か困ったことがあれば彼女に相談したり、一緒に考えたりしています。一緒に言い合った冗談、一緒に見た景色、二人だけの秘密は掛け替えのない思い出になりました。もし、あの日、彼女と出会っていなかったら、私たちはこんないい仲間にはなれなかったでしょう。だから、彼女に伝えたいです。——「羅さん、悲しい時もうれしい時も私のそばにいてくれて、ありがとうございます。そして、いつも私のそばでよい意見を言うてくれて、ありがとうございます。あなたと一緒に過ごした中学校生活はとても素晴らしかったよ。」

また、私の先生にも感謝を伝えたいです。2011年、私はあと5点足りなくて普通高校に合格できませんでした。とても残念でしたが、新たな希望を胸に、新しい学校に入学しました。そして、この学校で私は今の担任、李先生と初めて会いました。初めて先生に会った時、(若いなあ)と思いました。そして、先生はおっしゃいました。「あなたたちはこの学校に入った時から、もう卒業のカウントダウンをしています。今日が終わったらまた卒業に近づきます。だから、毎日を大切にしてください。あなたたちにとって卒業はそんなに先のことではないですよ。」そして、私たちに「もっと頑張れば、もっと自信になって、もっと楽しくなるよ。」と言ってくれました。先生は私たちに日本語を教えるだけでなく、たくさんの日本の文化や、日本での生活についても話してくれます。今、先生は私たちの先生だけではなく、友達のような関係でもあります。私たちは毎年先生の誕生日にはお祝いをします。一緒に過ごしたこの二年半は辛いこともたくさんありましたが、私たちは仲間ですから、それもまたよい思い出だと思います。だから、先生に伝えたいです。——「先生、私たちの担任として、私たちにたくさんの知識を教えてください、ありがとうございます。いつも励ましてくださり、ありがとうございます。」

最後に感謝を伝えたい人は、生まれた時からずっと一緒だった私の母です。私は怠け者で、掃除などをするのがあまり好きではありません。週末になると母は私に家事をさせますが、私は（したくないなあ）という顔をしながら家事をしたり、時々サボります。でも母は（しょうがないなあ）という顔をして一人で家事をしてくれます。また、私は中学生の時からあまり勉強をせず遊んでばかりいました。母はそんな私を見て何も言わずに、ただ心配そうな顔をしていました。結局高校の入試成績は良くなかったのですが、その時も母は何も言わずに、ただ成績表を見ていました。そんな母を見て、私も辛かったです。だから、高校に入ってから一生懸命勉強して、いい成績を取って母に見せたいと思うようになりました。私が五歳の時に父がなくなったので、それからは母が一人で私を育ててくれました。家には男性がいませんから、すべて家事は母がしなくてははいけません。そして、私のために会社でも一生懸命働いています。母は家でお母さんでもある上に、お父さんでもあります。女性一人で子どもを育てるのはとても大変ですが、母が「疲れたなあ」と言っているのを一度も聞いたことがありません。だから、母に伝えたいです。——「お母さん、今まで私を育ててくれて、ありがとうございます。いつも私のことを愛してくれて、ありがとうございます。私はとても幸せです。」

人生においては、私たちはたくさんのお会いがあります。それらのお会いの中には、私たちのそばで力を貸してくれる人もいます。そばにいてくれる人たちに私たちは「ありがとう」と伝えていきたいものです。